

平成26年7月18日

フロンティア科

フロンティア科講演会 実施要項

1 期日等

- (1) 期 日 平成26年7月29日(火)
- (2) 対 象 フロンティア科 1・2年生
- (3) 時 間 11:00～12:30 (講師紹介・質疑応答・お礼を含む)
- (4) 会 場 日向高等学校 視聴覚室
- (5) 講 師 瀬田重敏 (せた しげとし) 氏
 - ・東京農工大学 客員教授
 - ・元 旭化成 専務取締役 研究開発本部長
 - ・NPO法人 体験型科学教育研究所 リアルサイエンス 副代表理事
- (6) 演 題 『高校生のみなさんに考えていただきたいこと』

2 日程

9:50～10:40	2限目授業
10:40～10:50	生徒移動
10:50～11:00	事前指導、生徒待機
11:00～12:30	講演会(講師紹介・質疑応答・お礼を含む)
12:30～12:40	所感カード記入

3 係分担

業務	担当者	備考
総括	校長・甲斐史	講師との連絡調整
講師接待	校長・甲斐史	控え室での対応
会場設営	川邊・甲斐史	演壇・プロジェクター・水差し等
放送機器	川邊	ピンマイク
整列指導	菅・川邊	整列指導
進行	甲斐史	進行
お礼の言葉	菅	2年7組(米良)
演題垂れ幕	市原	演題垂れ幕作成
所感カード	市原	所感カード準備・事後処理
記録	甲斐史・市原	写真・映像による記録



講師：瀬田 重敏氏（東京農工大客員教授）

（旭化成・専務取締役 研究開発本部長）

演題 『高校生のみなさんに考えていただきたいこと』

記録用紙

- フランド→1本切った3本植えよ、
(3種類) 理系であろうが文系であろうが関係なく
片方だけを学ぼうとすると、すべてを学ぶ
ことができなくなってしまう。
- 積極的に切り替えてきた、
- ビオトープ... 生きていく場所
↑ 作られた分野に
- 工場はとって替えて、押入れになくなった、
こたわりすぎない。
- コウノトリは昔は日本にもたくさんいた、
↓
→様々な条件が重なり絶滅 - 別のものが見えてくる。
- 巨大な物を運ぶのにレバノン杉が最適、
- 物事の暗いところではなく
(石造建築物を造るのにも木は使われていた) 明るいところを見よ、
- 技術革新は1つのものでは生まれない、
また別のものが必要である。

感想

今日は日向高校フロンティア科のために講演会を開いてくださりありがとうございました。この講演会ではとてもたくさんのお話を聞くことができて、特に印象に残ったことは、1つのことに集中しすぎないということです。自分は理系に進もうと思っていたけど、文系は別にあまりするつもりではなかったけど、今日の講演でその気持ちも変わり、やはり文系の科目ももっと大切にしていこうという気持ちになりました。また他にもとても大切なことを聞くことができたのでとても良かったです。今日のこの素晴らしい講演を聞くことができて本当に良かったです。今日は、お忙しい中、本当にありがとうございました。

講師：瀬田 重敏氏（東京農工大客員教授）

（旭化成・専務取締役 研究開発本部長）

演題 『高校生のみなさんに考えていただきたいこと』

記録用紙

- フランドは、「1本切った3本植えよ」という政策で、森林の多い国になった。
日本の森林は世界に誇れる。
比較的早くから開いた超高度の島国に、
木質の森林が少なくなるという異例。
↓
殆ど皆「歴史的な」として扱っている。
- 1945年からの戦後の復興、
朝廷が植林奨励。
- 秀吉・家康・徳川の治世、
1600年頃の山の治世で、林は、
収穫林業から育成林業へ、
江戸時代に回復→成功した。
- 荒廃の一手前まで来たが、起きなかった。
↓
「1本切った3本植えよ」
植林というのを全国に広げてきた。
↓
消極的管理から積極的管理へ。
- 火の造林が増加。
↓
長期、自然の破壊、病害、
窃盗と破壊、盗伐、木質の減少、
大木の減少。
- ビオトープ
元々ドイツで始まり、普及し、運動。
学校もビオトープ化。
↓
10年たるとの攻撃は、
10年たるとの心を失くさせ、
老害した。100年以上、日本人の生活の場→自然環境。
↓
工業化と都市化により、
自然の排除へ、
山紫水明、
空の色が映ったような明色、
↓
しかし5年経たないうちに、
空の色が戻ってきたとき、
人は、この空の空気が、
大抵はいいと考える。

感想

今日の講演を聞いて、改めて環境破壊は深刻なものであることを知ることができました。現在日本には、 $\frac{2}{3}$ 以上森林があると聞きましたが、工業化や都市化が進んでいる現代のため将来もっと森林が減少するのではないかと思います。そこで必要になってくるのは植林ではないかと思います。私は一度も植林活動に参加したことがありませんが、今後一度でもよいから参加してみたいと思いました。また今回は日本だけでなく世界の植林のことも知ることができました。私は日本が最も植林が進んでいるかと思っています。今日の講演を聞き、ほかにもよい方法があるのだということを知りました。環境問題は現在深刻な問題であると思います。この日向でも以前より川が濁ってきたと思います。そこで今日の講演を思い出し、自分でも出来ることを考えたいと思います。

講師：瀬田 重敏氏（東京農工大客員教授）

（旭化成・専務取締役 研究開発本部長）

演題 『高校生のみなさんに考えていただきたいこと』

記録用紙

植林で成功... フランコ
第二世界大戦で木が伐たれた
日本を植えた3本の木を植える
日本は植林の歴史がある
昔は木を植える時に土をくみ
人口密度が高いから、林外へ→異例だ
昔の日本、城を建てた時に土をくみ
10の山が100の山に増えた
育成林... 江戸末期に成功
松平定信（木を1000本植える）
山火事
植林で成功... フランコ
第二世界大戦で木が伐たれた
日本を植えた3本の木を植える
日本は植林の歴史がある
昔は木を植える時に土をくみ
人口密度が高いから、林外へ→異例だ
昔の日本、城を建てた時に土をくみ
10の山が100の山に増えた
育成林... 江戸末期に成功
松平定信（木を1000本植える）
山火事
植林で成功... フランコ
第二世界大戦で木が伐たれた
日本を植えた3本の木を植える
日本は植林の歴史がある
昔は木を植える時に土をくみ
人口密度が高いから、林外へ→異例だ
昔の日本、城を建てた時に土をくみ
10の山が100の山に増えた
育成林... 江戸末期に成功
松平定信（木を1000本植える）
山火事

植林で成功... フランコ
第二世界大戦で木が伐たれた
日本を植えた3本の木を植える
日本は植林の歴史がある
昔は木を植える時に土をくみ
人口密度が高いから、林外へ→異例だ
昔の日本、城を建てた時に土をくみ
10の山が100の山に増えた
育成林... 江戸末期に成功
松平定信（木を1000本植える）
山火事
植林で成功... フランコ
第二世界大戦で木が伐たれた
日本を植えた3本の木を植える
日本は植林の歴史がある
昔は木を植える時に土をくみ
人口密度が高いから、林外へ→異例だ
昔の日本、城を建てた時に土をくみ
10の山が100の山に増えた
育成林... 江戸末期に成功
松平定信（木を1000本植える）
山火事
植林で成功... フランコ
第二世界大戦で木が伐たれた
日本を植えた3本の木を植える
日本は植林の歴史がある
昔は木を植える時に土をくみ
人口密度が高いから、林外へ→異例だ
昔の日本、城を建てた時に土をくみ
10の山が100の山に増えた
育成林... 江戸末期に成功
松平定信（木を1000本植える）
山火事

感想

今日はお忙しい中講演をしてくださりありがとうございました。今回の講演では特に森林の大切さと植林のことについて学びました。日本には、たくさんの森林があり、私はそれらを自然に生まれたものだと思っていました。しかし、今の美しい森林があるのは、昔からの植林のおかげだということが分かりました。

普段の生活の中では、あまりじっくり考えることがない内容ですが、今日の講演会により、考えが深い視点からこの内容に向きあうことができました。最近ではよく森林を伐採するところを見ました。森林を伐採することは人間にとってとても都合が良く、良いとしても森林を切ったことで後から都合の悪いことが起きるのではないかと考えました。人間と森林は共に生きていくべきだと思います。そして、これはどの分野においても大切なことだと思います。

講師：瀬田 重敏氏（東京農工大客員教授）

（旭化成・専務取締役 研究開発本部長）

演題 『高校生のみなさんに考えていただきたいこと』

記録用紙

日本の森林（植林）によって変えられている。
植林
フランコ（成功！）
親日国、森の国
II war → 森は焼かれた
1本植たら3本増える
自然から学ぶことが重要
植林で成功... フランコ
第二世界大戦で木が伐たれた
日本を植えた3本の木を植える
日本は植林の歴史がある
昔は木を植える時に土をくみ
人口密度が高いから、林外へ→異例だ
昔の日本、城を建てた時に土をくみ
10の山が100の山に増えた
育成林... 江戸末期に成功
松平定信（木を1000本植える）
山火事
植林で成功... フランコ
第二世界大戦で木が伐たれた
日本を植えた3本の木を植える
日本は植林の歴史がある
昔は木を植える時に土をくみ
人口密度が高いから、林外へ→異例だ
昔の日本、城を建てた時に土をくみ
10の山が100の山に増えた
育成林... 江戸末期に成功
松平定信（木を1000本植える）
山火事

日本の森林（植林）によって変えられている。
植林
フランコ（成功！）
親日国、森の国
II war → 森は焼かれた
1本植たら3本増える
自然から学ぶことが重要
植林で成功... フランコ
第二世界大戦で木が伐たれた
日本を植えた3本の木を植える
日本は植林の歴史がある
昔は木を植える時に土をくみ
人口密度が高いから、林外へ→異例だ
昔の日本、城を建てた時に土をくみ
10の山が100の山に増えた
育成林... 江戸末期に成功
松平定信（木を1000本植える）
山火事
植林で成功... フランコ
第二世界大戦で木が伐たれた
日本を植えた3本の木を植える
日本は植林の歴史がある
昔は木を植える時に土をくみ
人口密度が高いから、林外へ→異例だ
昔の日本、城を建てた時に土をくみ
10の山が100の山に増えた
育成林... 江戸末期に成功
松平定信（木を1000本植える）
山火事

感想

私は木の存在というものをあまり気にしたことはありませんでした。だから、もちろん植林について考えたこともなく、この数十年前に始まったものというイメージがありました。しかし、植林が「遺跡」の時代から行われていたと知って驚きました。今更盛んであったんじゃないかともしました。そして、だからこそ今の日本の森林は太丈夫なのかなと感じました。以前は政治でもよく取り上げられたことがあったのに、今は世間からの関心が強くないと思います。関心を持ったり、耳を傾けてもらうには今日お話しただけでは足りないと思います。そう、世の中身のある人の話というのは自然と耳に入ってしまう。自分の分野だけに目を向けず、知識を吸収していきたいです。そして他の世界に出会った時に自分の世界を確実に伝えられるようにしたいです。